



速報第14号
発行
富山国際大学付属高校 新聞部
富山市願海寺444
E-mail:
press@tuins-h.ed.jp

生徒会執行部がマスク寄贈

学校近隣の福祉施設へ

生徒会執行部は6月18日、学校近くのシルバーホーム呉羽あいの風と福祉コミュニティ呉羽あいの風に、マスク260枚とフェイスガード40枚を寄贈した。



生徒会執行部と施設職員の方々 呉羽あいの風

政府からの布製マスクが本校では6月2日に配布されたが、生徒会執行部が不要な人の寄付を募っていた。260枚のマスクが回収され、1年生美術選択者が作ったフェイスガード40枚と合わせて寄贈した。

この活動を発案した早川美季会長(31H)は「政府からマスクが配布されたが、使わない人も多くいるのではないかと考えた。自分たちも新型コロナウイルスの影響で思うよ

うに活動ができなかったため、少しでもできることをしたいと考えていた時に、不要なマスクを回収して福祉施設や病院などに寄贈するという取り組みを知った。本校でもマスクを回収して寄贈し、役立ててもらおうと企画した」と話す。

中心となって活動した西村俊輔副会長(36H)は「地域社会に貢献することができると嬉しい。寄贈先の方々からも感謝の言葉をいただき、企画

を実現できてよかった」と活動を振り返った。寄贈先の施設職員の方からは感謝の言葉だけでなく「今後も国際生との交流ができればいいと思います」と、今後の交流に前向きな声もいただいたという。また、生徒会担当の小出生は「大変な時期に助け合おうと思える国際生は偉い。これからもそういう気持ちは大切にしてほしい」と話した。

今回の執行部の活動などを通して、私たちも社会貢献をすることができる。地域社会をより良いものにするために、一人でも多くこういった活動に積極的に参加してほしい。